

# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月7日(火) 午後7時00分～午後8時35分				
開催場所	市役所4階会議室1—A B C				
参加人数 (議員・事務局除く)	52人				
出席議員	1 班	山本行男	山本裕三	勝川志保子	藤原正光
		橋本勝弘	山田浩司	石川紀子	
役割分担	班 長	山本行男		司会進行	山田浩司
	総務委員会 報告	藤原正光		環境産業 委員会報告	橋本勝弘
	文教厚生 委員会報告	勝川志保子		受 付	山本裕三 石川紀子
	記 録	石川紀子			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	<p>① 課題はよく分かった。市はどう実現していくのか。中間からどう深掘りしていくのか。具体的にどう考えているのか。</p> <p>② 上下水道の経費回収率についてあまり変動がないようだが、下水道では回収率があるが上水道でも回収率はしっかりあるのか。</p> <p>③ 回収率が高くなる方が収益が良くなるので人口が減った方がいいのでは。</p>			<p>① 市内において、料金の格差のある地域もある。広域で同じ料金でやれないだろうか。また、料金の均衡や漏水対策に先端技術を使えないだろうかなど県に伝えていきたい。</p> <p>② 上水道の回収率について企業会計で一般会計からいただいている事業を行っている。上水道は健全経営で、下水道も同じような状況だ。</p> <p>③ 更新していく費用もかかるし、収益が減ると賄っていたものがなくなるのでよくなっていくと思う。</p>	
環境産業委員会	<p>④ 有機農業の話だが、自然農法で作ったもの、有機で作ったも</p>			<p>④ 有機農業では、作物の中でそれぞれの競争が激しく早く</p>	

<p>文教厚生委員会</p>	<p>の、化学肥料を使って作ったもの、それぞれを放置する実験をした結果、一番最初に腐るものは有機、次に化学肥料、最後に自然のものが腐る。自分たちの健康を考えると将来的に難しいのではないかと思うがいかがか。</p> <p>⑤ 農機具のレンタルとか高額だが、甲府市の説明では無料になっている。もう一度説明をしてもらいたい。</p> <p>⑥ 今回初めての参加だが、子どもが家庭内の環境で具体的にどうすればいいのか報告だけの問題で終わらず、具体的にどうしていく考えなのか聞きたい。</p> <p>⑦ 積極的にアンケートを見ると、なぜ掛川で産もうとするのが少ないのか。</p>	<p>ダメになってしまうものもあるが、化学肥料を使わない JAS 認定の物と、JAS の認定は取れていないが有機農業と言われているものは市場での評価も高い。</p> <p>⑤ 農業が進まない理由の一つとして、農機具は比較的高額なものがあり新規就労したいという方には難しい。そこで新規就農の方に、行政が高額単価の機具を買い無料で貸し出しするという支援をしている。</p> <p>⑥ 1300 人のアンケートの報告をさせてもらいました。少子化を食い止めることを考え、市に対して提言していくつもりです。</p> <p>⑦ 子育てはこども希望部、教育、乳幼児と医療、徳育等対策について一致していることをもっている。それぞれの担当課がいい考えを持っていても組織化されなくてはいけないと考える。</p>
<p>区分</p>	<p>(質疑)</p>	<p>(答弁)</p>
<p>自由質疑</p>	<p>① 持続可能な農業について解決策より議論したことを具体的に知らせてほしい。</p> <p>② 中東遠総合医療センターの評判があまり良くない。市民の声を汲み取り病院のことについて議会としてしっかり話し合ってもらいたい。</p>	<p>① 話し合いをした時に在席していたので、しっかりお答えしたいと思う。</p> <p>② 企業団組合議会として掛川市、袋井市両市 5 名ずつ出て議会をつくっている。研修医の数も医師の数も確保されている。経営状態もかなり上昇し</p>

③ 掛川に葬儀場ができた。地区にも近隣周辺にも説明がないまま工事に入った。市にお願いできることではないかもしれないが、住民の住居環境として考えてもらえたい。いきなり工事が始まって完成。これから小規模な葬儀場ができるのではないかとと思われる。

④ どうする掛川では、高齢者、結婚しない人に対する冷遇。これは大問題。少子化をどうするのか問題は、結婚する人が少ないという事が問題なのではないか。結婚したいと思う場を市が設けられれば解決するのではないかと思うがいかがか。

ている状況ではあるが、色々なことについて企業団の方にしっかりと伝えていきたいと思う。

③ 企業の事業だということで全国的にも問題があり、法的なこともあるので市に伝えていきたいと思う。

④ 本気で安心して住める掛川にしていくためにアンケートも分析してデータを使って様子が見えてくるので、それについて議員で議論しながら市に提言していこうと思っている。

結婚相談所については、社協で何十年も続いている。4市でデータがある。本人が登録してくれれば機会があるということをお伝えしていただけたらと思う。

# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月10日(金) 午後7時00分～午後8時30分				
開催場所	大須賀支所2階市民交流センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	36人				
出席議員	2班	二村禮一	窪野愛子	松浦昌巳	富田まゆみ
		嶺岡慎悟	安田 彰	高橋篤仁	
役割分担	班 長	二村禮一		司会進行	松浦昌巳
	総務委員会 報告	嶺岡慎悟		環境産業 委員会報告	窪野愛子
	文教厚生 委員会報告	安田 彰		受 付	富田まゆみ
	記 録	高橋篤仁			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	① 水道料金をいかにして下げるのか。			① 今後維持管理費がかかり、料金がもっとかかる恐れがあるので上がらないよう検討していく。	
環境産業委員会	② 下水道の処理コストを下げられないか。			② 新技術を駆使して方法を検討していく。	
	③ サンサンファームの今後は。			③ プロポーザルで公募をかけて活用方法を考えている。年末までには決めていく。	
	④ オーガニック推進と農業従事者を増やすのは別の問題ではないか。			④ オーガニック農業は、まだ緒に就いたばかりであり、新しい分野の選択肢を模索していく。	
	⑤ 耕作放棄地を大規模農家に預けているがやり切れていないのではないか。			⑤ 農業委員会と話し合いの場を持ち対策を考えていく。	

区分	(質疑)	(答弁)
文教厚生委員会	<p>⑥ 子育てする大須賀地区に公園が少ないのではないかと。</p> <p>⑦ 22の放課後児童クラブの運営がバラバラで公平感がないのではないかと。</p> <p>⑧ 学校再編でどのような学校にするのか。</p> <p>⑨ 子育て対策は掛川在住者に向けての考え方なのか。</p>	<p>⑥ アンケート結果でも公園の要望が多かったので改善点だと思う。</p> <p>⑦ 利用者の希望がバラバラで叶えていくのが難しい。</p> <p>⑧ 地元の合意を最優先に考えて進める。</p> <p>⑨ 今回のアンケートは市内在住者から取り寄せているので、まずは市内向けに改善点を見出していく。</p>
自由質疑	<p>① 鶏糞の問題について議員の中では問題視しているのか。</p> <p>② 管理されていない山があり、台風とかで土砂崩れが心配であるが。</p>	<p>① 掛川市でできる部分が限られていて、勝手にやれないジレンマは有るが、静岡県へ撤去を懇願していく。</p> <p>② 土木防災課により、危険度の高い順に対応していく。</p>

# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月14日(火) 午後7時00分～午後8時45分				
開催場所	生涯学習センター2階第4会議室				
参加人数 (議員・事務局除く)	48人				
出席議員	3班	草賀章吉	松本均	寺田幸弘	鈴木久裕
		藤澤恭子	鷺山記世		
役割分担	班長	草賀章吉		司会進行	藤澤恭子
	総務委員会報告	鈴木久裕		環境産業委員会報告	松本均
	文教厚生委員会報告	寺田幸弘		受付	鷺山記世
	記録	鷺山記世			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	<p>① 料金を上げて簡易水道の管理を水道課でやってほしいが進んでいない。市の方へ維持管理日常的な管理も水道課でやってほしいことを検討してほしい。</p> <p>② 萩間居尻簡易水道は上水道と同じ料金を払う。台風がきても上水道は断水しないが簡易水道は断水する。料金が同等の水準というのは納得できないが。</p> <p>③ 大和田地区、大和田孕丹地区は一部上水道が来ている。上水道にすると何億という工事費がかかる。3割地元負担。中山間地で高齢化が進んでいるところで先を見通せない工事に3割負担してまでやる必要があるのか</p>			<p>① ソフト面の管理への提言は議会でもしていきたい。 料金体系は今後の検討課題である。</p> <p>② 5つの水道体系、統合したときの水道体系を検討してしっかりと提言していく。</p> <p>③ 簡易水道としてやるのか、上水道でやるのか総務委員会で改めて検討したい。</p>	

環境産業委員会

という意見もある。工事料金も含めて考えてほしい。

- ④ 水道事業の課題の検討  
東遠地区広域化を15年前から、当局より同じ説明を受けている。大井川水道局から離れて、企業局へ企業団を引き渡すという方向でできる。榛南水道でもできるのではないか。
- ⑤ 昨年の地区集会で耕作放棄地問題がでた。地区から耕作放棄地を農地以外の用途をお願いしたが法的な問題がある。掛川市の回答は人・農地プランがあって、もう少し踏み込んで地域ぐるみで農業以外の話し合い協議があるのかとと思っていたが今のところない。市の状況を参考にしてほしい。青地の面積、農地の面積は減っているが農業出荷額は変わっていない。お茶は面積は減っていないが産出額は減っている。
- ⑥ 課題3つは、本当に重要な問題である。  
お茶の場合新規就農者がいないが。
- ⑦ 地区集会で回答を得られなかったが、お茶を掛川市民がどれ

- ④ 県の広域大井川水道局になれば統一して進むのではないか。現状では榛南水道を確実にやるという動き。いただいたご意見を掛川市として県に意見を出していくことを検討していく。
- ⑤ 青地でも放置されると生産額も下がる。お茶の単価が下がると金額的にも下がる。農家を守るための青地が本当に使えなくなる。青地白地の問題はご意見も伺っている。自分の土地なのに使い勝手が悪い。12月に農業委員会がある。ご意見を頂いて報告させていただく。  
人・農地プランは、昨年度から地域計画を令和6年度まで作ることになっている。  
土地を集めた大規模化集約とは、ばらばらにするのではなく、概ね1ヘクタールで集積集約を進めて、農業委員会でも市の農林課から話があり農地利用最適委員会が地域の担い手は、どんな人がいいか市とも話し合い、来年度を目途に検討している。地域の会合に参加してもらう人の検討をしている。
- ⑥ 言われたとおりだと思う。新規就農は苦勞している。お茶となると難しいこともよくわかる。市も若い人に話をしているが難しい。持ち帰り提言できるようにしていきたい。
- ⑦ 統計をとっていないのでわからない。餃子の消費量は、

くらい飲んでいるのかベンチマークとして知りたい。

リブランディングプロジェクトはプロの人に頼んでいるのか議会でやっているのか教えてほしい。

- ⑧ お茶をいかに飲んでもらうか市長にも話をしたことがある。ためしてガッテン、お茶で乾杯条例、尻切れトンボ。掛川市の住民がお茶を飲まなければ、お茶というのは定着しない。川坂屋の会。小夜の中山日坂を歩くと耕作放棄地が目立つ。時々この近辺は「お茶は木になるんだね」と冗談交じりで言う方がいる。茶商との合意形成のもと、お茶を生産させる。観光とかそういう意味でお茶を全体的にきれいに見られるようにしてほしい。

県庁所在地・政令指定都市でやっている。この5年間は、この地区でという抽出で消費量の統計を取っている。この頃は、そういうのがなくなり小さい都市の消費量は出にくい状況。ご理解ください。

掛川市のリブランディングプロジェクト、今後、掛川市がどうしていくのかわからないので、後日報告させていただく。

- ⑧ 前回やったが、今どうなっているのか尻切れとんぼ。前やったことを継続することは議会としても話をしていく。



<p>文教厚生委員会</p>	<p>⑨ 少子高齢化になって、日坂は更に少子化が進んでいる。少子化を食い止めるために、いろいろやるようですが、お母さんに質問すると生活しにくい。保育園を市の中心部に置くだけではなく郊外にも置いてもらいたい。人口の流出を防いでほしい。山間部を放置すれば弊害も出てくるのではないか。</p> <p>⑩ 子育ては終わった世代だが、子育て世代が少なくなっている環境で子育てできている。ハード面で保育士の支援をすれば、もっともっと子どもを預けやすい環境がつかれる。千葉県流山市は子ども、人が増えた。人が増えすぎて校舎を1校建てた。流山市と掛川市の違いはなにか。</p>	<p>⑪ 保育所施設分散、子どもたちが少ないところでも保育所設置。そのとおりだと思う。明石市へ行った。子育てに優しいまち。5つの無償化。子育てしやすい環境。市外から夫婦が引っ越してきて子育てしている。いい感じで回っている。話を持ち帰って検討する。</p> <p>⑨ 文教厚生委員会として、栗東市と明石市へ行った。検討させていただく。</p>
<p>自由質疑</p>	<p>① 上下水道のあるべき姿だが、話を聞いていると課題しか聞こえない。あるべき姿から引き算した課題、あるべき姿とはなにか。</p> <p>② 持続性の高い農業の課題、テーマが曖昧。ビジネスとして成立しづらい。この辺から切り口として入ってもらわないと問題解決はしない。これは産業だから。</p> <p>③ 子育ての関係。いいテーマなので積極的に展開していただきたい。農業のインフラ整備も人口に関わってくる。全ては人口から発生している問題。串刺しにして議会として解決してほしい。</p>	<p>① 上下水道のあるべき姿、独立して継続できるかそこが課題。広域化による経営の効率化、中山間地の経営の厳しいところは揉んでいくべき。全体の企業会計として持続可能性を図っていくかという点であるべき姿とした。</p> <p>② 経営の問題。後継者不足も問題。持ち帰り議論していきたい。</p> <p>③ 文教厚生委員会の中で話合ったのは、国の異次元の子育て対策。隣の市から引っ越してきたよという人口増ではなく、掛川市内で人口が増え人が育っていくことが必要である。</p>

- |   |   |
|---|---|
| <p>④ 下水道問題は父から聞いた。簡易水道は中学の時から聞いている。まだやっているんだと驚いた。早く取り組んでほしい。若い人が出ていくのはこういう問題もあるのではないか。住みたいか、残りたいかという問題にも繋がるのでは。</p> <p>⑤ 静岡サレジオ高校が耕作放棄地を何とか減らそうという取り組みをしている。近所の人を巻き込んで行っている。市議の人にも見てほしい。報告の農業の件で必要経費をできるだけ少なくなるように若い人が継続できるように文化や伝統を守ってほしい。</p> <p>⑥ 10年ぶりに子どもを産んだ。昔と今では母親の感覚が違う。10年前よりも、ひとり親</p> | <p>④ 下水道は、市内でも着手できていないところがある。下水道を考えたとき集合処理、公共下水道ほど善であるという考えのもと人口密度が低いところでも計画を立てざるを得なかった。</p> <p>郊外の分散しているところは個別処理。浄化槽処理20ppm。お風呂台所は流しっぱなし。単独浄化槽でも良い。その辺りをどうしていくか、少ない予算の間でやっているうちに合併浄化槽5ppm、3ppmとルールが変わった。新築の家のルール。新築の家はきれいな浄化槽が付いている。事業をどういうふうに進めていくのか市でも悩ましい状況。計画を作ってそれに沿って国も補助をしているからできませんという態度が軟化してきた。個別処理、集合処理をどう組み合わせたら衛生的に排出できるか、それらの事業すべて企業会計でやっているのでも個別浄化槽設置も企業会計。農業集落排水も企業会計。会計ごとに独立した採算性、それらを求められている。持続性も考えた案を練っていく。</p> <p>⑤ 高校生が問題点を検討しているので参考にしている。</p> <p>学校では、有機農業で採れたものを給食に出して食べるなど農業に親しんでいる。農機具も起業したとき、お金がかかる。視察先の5年間無償貸与は良い制度。助成や起業のことも検討していく。</p> <p>⑥ お金がかかる。予算がかかる。明石市の場合、土木費を10年間で1/3に減らした。</p> |
|---|---|

	<p>世帯が増えたのでサポートしてほしい。お金がすごくかかる。核家族も増えた。近くに自分の両親がいない一人親世帯でも安心して子育てができるようにしてほしい。1歳児が保育園に入れない。保育士を充実してほしい。母親同士で繋がろうとしない。支援センターも横の繋がりをどうするか考えてほしい。</p>	<p>子どもは明石の宝。少子化対策が一番大切な課題。おむつ1年間無償は明石市栗東市でやっていた。子育て経験者が子育て世帯に宅配。悩みなど聞いて対応している。参考になった。</p>
--	--	---

# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月20日(月) 午後7時00分～午後8時30分				
開催場所	大東支所3階市民交流センター				
参加人数 (議員・事務局除く)	63人				
出席議員	1 班	山本行男	山本裕三	勝川志保子	藤原正光
		橋本勝弘	山田浩司	石川紀子	
役割分担	班 長	山本行男		司会進行	山田浩司
	総務委員会 報告	藤原正光		環境産業 委員会報告	橋本勝弘
	文教厚生 委員会報告	勝川志保子		受 付	山本裕三 石川紀子
	記 録	石川紀子			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	<p>① 水道工事が始まった時から老朽化については仕方ない事だが、老朽化は直さなくてはいけない。そのためにいくらかかって、その費用を皆さんに負担してもらわなくてはいけないならば具体的な数字がわかると良い。老朽化を直すのか、水道を引いた方が安いのか、新しいところに移動して住むところを変えた方がいいのか。</p> <p>② 市民の求める価格よりも掛川は高い。高い原因をどう捉えるのか。持続可能な料金が出てくるのではないかと思う。掛川市の給水量が多く全体の三分の一以上を給水している。使用量を上回る給水を受けている。これが高い要因になっていると思う。今後の対応について教えて</p>			<p>① ② 静岡県下でも掛川は水が乏しい。11月頃の新聞では、湖西市70%水道料あげますよということでした。県下の中でも料金は平等にやるべきではないかという議論をしていかなくてはいけない。</p>	

環境産業委員会

いただきたい。

③ これから50年後はどうなるのか。先細りが想像されるが、ロボットにプログラミングすれば24時間持つなど、提案してあげないと農家さんが大変なのではないかと思うが。

④ オーガニック宣言をして今の現状と課題についてまた進捗など。農業の難しいところは、価格を自分では決められない、決めにくい。レンタルの貸し出しは無料にするとか。特に所得、売上の補償が必要なのではと思う。農家の就農を安定にする為の取組みとして何かしているのだろうか。

⑤ お米を作り始め、有機栽培でやっている。西ノ谷地区の営農組合の仲間に入れてもらった。有機農業を進めていきたいと思っている。モデル地域としてできるのであれば相談に乗ってほしい。

文教厚生委員会

⑥ 出生数が減っている。少子化というのでなるべく産まないようにしたいという気持ちがあるのではないかと。戦争が終わった

③ 認定農業者は年間所得580万円を目指すというのがあるが、今500万円以下ということがある。有機農業をやる時も、技術支援やスマート農業等が必要になったりする。

甲府市は伴走支援があり、技術を学びしっかり研修を開いたりしながらやっている。

新規就農者を目指していくということもあるし、所得のしっかりした目途が立つことも必要かと思う。

農林課も60本の事業があり、構造改善事業が入っている。そうした中でできるだけ取り入れられるように思っている。

④⑤

オーガニックビレッジ宣言は県内でも先駆けで市長が宣伝した。斬新な新事業として茶業版、フェアレード。これは公正取引でしっかりした価格で買い取っていただく。チャレンジな取組。関係者としてJAさん、茶商さんを含めて協議会を立ち上げることになっているが少し遅れている。北杜市は3週間前にビレッジ宣言をした。協議会を立ち上げ取り組んでいる。野菜畑では、モデル地区の指定もされていないのでやってほしい。茶業価格、お米についても厳しい状況。しっかり農林課の方に要求したいと思う。

⑥ 掛川市が激変して進んでしまっているのは、非常に大きな問題だと思っている。なぜ子ども達を産み育てることが難し

	<p>昭和24年頃、たくさん子どもを産んでいるが、裕福な時に子どもが減っている。何か捉え方が違っているのではないかと考えている。</p> <p>人口減少とはいうが掛川市は増えている。温暖化、海水面が上がっていることなどで江東区墨田区、足立区の250万人が安全な所に避難したい、移りたい、会社を持っていきたいと思っている人がたくさんいる。掛川市は日本のど真ん中で場所はいいところなので移住をしてもらったらどうかと考えるのも一つの案なのではないか。</p> <p>⑦ 若者が結婚しないことが問題なのでは。既婚率はどのくらいなのか。結婚を進めていくことが大切なのではないか。</p>	<p>くなっているのか。どういうふうに若い方が考えているのか。何が対策として打たれれば少子化を止めることができたり、人口減を食い止め、掛川市の持続可能なまちにしていくことができるのか真剣に考えたい。対策としてアンケートも取り、人口を増やしている先進自治体に行き勉強もしている。子ども達を産み育てたいまちになると良いと思う。</p> <p>⑦ 結婚を支援するという施策を考えることもいいのではないかとこの声も出た。社会の変化の中で若者の捉え方が違うのではないかと。市では婚活の支援もやっている。今回は、1人目を産んだ方が2人目、3人目と続けて産みたいと思うようなまちになっていったらどうだろうか。というところに焦点を当てて調査研究をしている。</p>
<p>区分</p>	<p>(質疑)</p>	<p>(答弁)</p>
<p>自由質疑</p>	<p>① 先日地区集会有った。令和5年海岸線ビジョンの実施計画と策定が行われたと、説明があった。計画期間は令和6年から10年までの5年間。ローリング方式とはどのような方式なのか。二つ目に市議と海岸地域で意見交換をしたというのが内容はどうなのか。最後、三浜地区の防潮堤について、令和3年、4年と大雨で北側の法面が数カ所崩れ、畑の農作物が広範囲にわたり大きな被害が出た。現在崩</p>	<p>① 議会も声をいただいたと当局に話しておく。</p>

れたままになっている所の復旧の目処はどうなっているのか。また、新規の防潮堤でトイレがなくなったが、今後トイレの新設はあるのか。海岸自転車道について、現在の自転車道は砂で埋まり自転車道は無くなっている。新規海岸自転車道は砂で埋まる対策は行なっているのか。一級河川菊川の支川の新川、与惣川の草刈りを行っている。年に2回草刈りを行っているが、草刈りで怪我をした人がいる。資料をつけておくので検討していただきたい。

- ② 地区集会在今年度平日の昼間行われた。役員なので年齢層も高く、そのために仕事を休んだという。そうすると若い人の意見は聞けなくなる。職員の働き方改革と幅広く市民の声を聞くことと両立できないのだろうか。

先日若い子育てしているお母さん達や色々活動しているお母さん達から、フェイスブックで市の何何委員になってほしいとかで委員になったり、ワークショップがあって皆さんの意見を聞きたいというので参加するが、言いつばなし聞きつばなしで何のためにやっているのかわからない。やろうとしている意欲ある市民の支援をしてほしいと思うが、結局はボードに貼られて終わり。その後どうなりましたかと聞いても返事は返ってこない。

議会だよりにいい提案はあっても採用された形跡はない。市民と共同でやっていくということを議会が先進事例としてやっ

- ② 市当局に声を伝えておきます。特別委員会も含めて広報広聴委員会、議会だよりもある。出前講座は単なるガス抜きをしているわけではない。これから掛川をどうしたらいいのか。どうすればいいのか。議会は真剣に考えている。将来的にどういう方向に持っていくかなくてはいけないのか。非常にリーダーシップを持った組長さんがいろんなところで誕生している。こういう掛川市にするんだと頑張っている。今いただいた声を学び、また参考にさせていただきたい。

<p>20:30 終了</p>	<p>たらどうか。市民と一緒に政策を作っていくという先進事例を掛川でやってほしい。市民の声をどう受け止め政策に繋げていくのか、具体的に見える化をしたらよいのではと思う。</p> <p>③ 少子化の問題は結婚しないことだと思う。結婚している夫婦とか三世代の世帯とかに優遇があればいいのではないかと思う。</p> <p>外国人の人数県内9位掛川市3.6%。外国人の方々どう付き合っていくかが重要。友好的なことを話すのも大切。</p>	<p>③ 国際交流センターが色々相談に乗っている。外国人の方々を受け入れていくということになる。色々ご意見をいただいたので当局と議会の方にも報告したいと思う。</p>
-----------------	--	---



# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月27日(月) 午後7時00分～午後8時40分				
開催場所	市役所4階会議室1—A B C				
参加人数 (議員・事務局除く)	13人				
出席議員	2班	窪野愛子	松浦昌巳	富田まゆみ	嶺岡慎悟
		安田 彰	高橋篤仁		
役割分担	班 長	松浦昌巳		司会進行	松浦昌巳
	総務委員会 報告	嶺岡慎悟		環境産業 委員会報告	窪野愛子
	文教厚生 委員会報告	安田 彰		受 付	富田まゆみ
	記 録	高橋篤仁			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	<p>① 水道事業は、広域化、民営化に向かうのか。</p> <p>② 掛川唯一の原野谷川水源の重要性を考えているのか。</p> <p>③ スマートメーターなど活用して人件費の削減に繋げてはどうか。</p> <p>④ 下水道の接続率を上げるようには。</p> <p>⑤ 接続は一時的に増加はしたが停滞しているのではないか。</p>			<p>① 民営化はしない。料金を安くするために榛南と合併する。</p> <p>② 地元水源を大切に考えていく。</p> <p>③ 費用対効果を考えて、一部テストしている状況である。</p> <p>④ 課題は認識している。</p> <p>⑤ メリットを理解してもらえていない。</p>	

区分	(質疑)	(答弁)
環境産業委員会	<p>⑥ ワンストップの意味が解らない。</p> <p>⑦ 農機具の貸出しをしているのか。</p> <p>⑧ 親の農業を継いでいない農地を借りて欲しいので行政に照会してほしい。</p> <p>⑨ 塩漬けになった青地の利活用が必要ではないか。</p>	<p>⑥ 行政の一箇所の窓口に行けばすべて済むよという意味である。</p> <p>⑦ 新規就農者に対しての支援として考えている。</p> <p>⑧ 農業委員会と相談していく。</p> <p>⑨ 青地の農地は、動かすことが出来ない。</p>
文教厚生委員会	<p>⑩ 若い世代で男性育休を取っている。行政も中小企業に対して、休暇を取れる支援策を考えてはどうか。</p> <p>⑪ 少子化対策は、結婚を紹介する方が優先ではないか。</p> <p>⑫ 不妊治療の支援が行き届いていないのではないか。</p> <p>⑬ 婚活活動の情報を見ているが企業にも協力要請してはどうか。</p> <p>⑭ 公園の面積を狭くしてでも駐車場のある公園にしてはどうか。</p> <p>⑮ 遊具がない公園が多いのではないか。</p>	<p>⑩ 男性育休を取っていない現状を改善していく。</p> <p>⑪ 非婚者に対しておせっかい活動をしているが、成果に繋がっていない。</p> <p>⑫ そこまで考えていなかった。これから検討していく。</p> <p>⑬ NECや資生堂などには声掛けはしている。</p> <p>⑭ 子育て世代は駐車場のある公園を選択するので検討していく。</p> <p>⑮ 貴重なご意見を参考にさせていただきます。</p>
自由質疑	<p>① お達者半額タクシーはなぜ無くなったのか。</p> <p>② 専門職員がいなくなって心配であるが。</p>	<p>① 実証実験を半年やったことを地域公共交通計画で示していく。</p> <p>② ジョブローテーションし過ぎでプロフェッショナル知識</p>

	<p>③ 職員のミスや問題が多い。議会の監視機能をもっと厳しくするべきではないか。</p> <p>④ 議会報告会で出た他の意見や住民の声をフルオープンにして開示していただきたい。</p>	<p>を持つ職員が少なくなっていることは議会も問題視している。</p> <p>③ 大変身に染みている。監視機能を高めていく。</p> <p>④ 検討する。</p>
--	---	---

# 議会報告会報告書

開催日時	令和5年11月24日(金) 午後7時00分～午後8時45分				
開催場所	桜木ホール				
参加人数 (議員・事務局除く)	31人				
出席議員	3班	草賀章吉	松本均	寺田幸弘	鈴木久裕
		藤澤恭子	大井正	鷺山記世	
役割分担	班長	草賀章吉		司会進行	藤澤恭子
	総務委員会報告	鈴木久裕		環境産業委員会報告	大井正
	文教厚生委員会報告	寺田幸弘		受付	松本均
	記録	鷺山記世			
区分	(質疑)			(答弁)	
総務委員会	<p>① 公共下水事業は、令和3年と4年と比べて金額が下がっているが、その理由は。</p> <p>② 下水道について、令和の41,156ヘクタールは、掛川市のどこの部分を指しているのか。</p> <p>③ 水道管の老朽は、10年経つと相当進む。工事の具体的着手のスケジュールは組まれているのか。</p> <p>④ 地区で取り組む順序は決まっているのか。</p> <p>⑤ 桜木地区はこの時期にやるとスケジュールを示すべきではないか。</p>			<p>① 使用料が少なかったことが考えられる。</p> <p>② 掛川、大東、大須賀の3区域合計の面積である。</p> <p>③ 菅の延長が長いので計画的にやっている。</p> <p>④ 具体的なところは水道局で決まっている。</p> <p>⑤ 水道局と相談して情報提供をするようにする。</p>	

<p>環境産業委員会</p>	<p>⑥ 休耕地にオリーブを植えると昨年聞いた。オリーブを植えてもその後の経済的支援がない。総括はしているのか。市から説明がないが。</p> <p>⑦ 獣害対策について触れていない。農業従事者にとって獣害対策はストレスの1つである。        猟友会の皆様の協力を頂いているが地域の猟師が高齢化のため減っている。悪さをするイノシシが増える。新たな対策取り組みは。よその町だとジビエ料理するような加工施設を用意している。料理を出すお店もあるが、議員はどう考える。</p>	<p>⑥ 行政が今現在考えていることをタイムリーに理解していない。計画を上げて、その後がどうなっているのか不明である。成果指標等を確認し議会としてチェックしていく。        産業として成り立つ収支バランスが取れる施策を質問している最中である。</p> <p>⑦ ジビエ対策についても委員会で意見が出たが、案がまとまっていない。        衛生問題など、先進地を調べないと分からない。現時点では答弁できないので持ち帰る。</p>
<p>文教厚生委員会</p>	<p>⑧ 獣害対策は、もう少し新たな施策が必要ではないか。</p> <p>⑨ 0歳児の見守り訪問の見守りをする方はどのような方なのか。</p> <p>⑩ 少子化の前に婚活が必要ではないか。</p> <p>⑪ 少子高齢化で空き家問題が出てくる。空き家を行政が主導で子どもをたくさん産みたい人に向けて、住宅費にお金をかけられない方に対して行政が空き家を活用していけないか。他市からの転入者を増やしたい。</p>	<p>⑧ 獣害被害が多くなり深刻となっている。持ち帰る。</p> <p>⑨ 宅配業者が子育て経験者を採用。</p> <p>⑩ 婚活のことも大事だと思う。市役所もおせっかいサポートをしている。        今回のテーマとしては、子育てしやすい環境を目指し人口を増やしていくこととした。        婚活は広域連携をしていくことが大切だと考えているが、少子化対策をテーマにした。</p> <p>⑪ 全国的に人口を増やさないといけない。その中で空き家のことも考えていきたい。</p>

<p>自由質疑</p>	<p>① 県道の吉岡のところの坂道で、山梨に繋がる道路が全く見通しがつかない。</p> <p>② 県道の歩道の件を進めてほしい。</p> <p>③ 環境資源ギャラリー外部搬出は修理費用がかかる為なのか。5年の耐用年数。ごみ減量日本一なのに耐用年数に達した原因はどこにあるのか。議論をされたのか。</p> <p>④ 3つの委員会のボリュームが大きい。 二元代表制なので事業を確認しなければならない。国からの補助がなくなると事業の進展が悪くなる。事業の進捗状況を説明してほしい。市民を巻き込んで舵取りをしてほしい。 内陸フロンティアの西郷や倉真のパーキングエリア、有機的な農業など、経過だけの説明ではなく着地点の説明もしてほしい。</p>	<p>① 令和6年度に開通を進めていた。地権者が相続の関係で用地取得ができなかったため延びている。</p> <p>② 担当は基盤整備課であり、伝えておく。</p> <p>③ 掛川市と菊川市の組合議会がある。自分が組合議員である。耐用年数20年なのに、なぜ壊れたのか施設組合の方でも不明である。原因が分からないで進めるのは問題だという意見が多数出た。機械調査を含め、原因を調査している。一定の温度で燃やさないとダイオキシンが発生する。灯油を入れて一定の温度で焼却している。 原因を解明すれば、外部搬出を許可するという条件を付けた。</p> <p>④ 議会は市民の方々と一緒。行政と対峙する。 補助金が付くと事業が進むが補助金が付かないと事業が進まない。 内陸フロンティアの事業は、古墳がでると開発できない。川の反乱に脅えながら過ごしている。少しの予算は付くが抜本的な対策にならない。 垂木川、家代川は、ダムを作って流量の調整ができるとは思わないが、今のやり方でいいのか疑問である。今年も冠水間近なところまでいった。来年は橋げたが架かる。橋を架け替えるには時間がかかるので心苦しく思う。全国的には田んぼダムに取り組んでいる。 頂いた意見は議会内で協議する。</p>
-------------	---	--